※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書	保育基礎　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○子どもや保育について学び、これからの子育てや子育て支援について考えてみましょう。講義だけでなく実習も含めて積極的に取り組みましょう。

・子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する知識や技術を習得するために教科書、プリント、視覚教材を使って学習する。

・こども園での体験授業で乳幼児と実際に触れ合い、乳幼児の発達と保育に関する理解を深める。

２　学習の到達目標

保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもの保育	保育の意義 保育の方法 保育の環境	a:発達の時期の特性を考量した保育の工夫が必要で」あることを必要性を理解している。 b:　:保育者の役割を理解し、その資質や能力を身につけるには、どのような点に気を付ければいいのかなどが考察できる。 c:子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し接し方、援助のの方法、など適切な保育環境について調べている。	定期考査	ワークシート レポート	振り返りシート 授業観察
	子どもの発達	子どもの発達の特性 子どものからだの発達 子どもの心の発達	a:母体に対する関心と課題、乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。また、乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ，新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解している。 b:人間関係の発達については、何が大切か考える。また、子どもの発達には、個人差が大きいことについても考察している。 c:子どもの発達段階を見通し、自分の考えを述べることができる。	定期考査 小テスト	ワークシート レポート	振り返りシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	子どもの文化と生活	子どもの文化の意義と支える場 子どもの遊びと表現活動 保育実習 子どもの生活と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	a:児童文化の意義・役割、また、子どもの遊びの大切さを理解している。基本的生活習慣や社会的生活習慣を理解している。 b:子どもが生活習慣を身につけるための保育者としてやらなければならないことについて思考を深める。また、子どもに起こりやすい病気や事故を予測し、その対策を考えることができる。 c:保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわり、観察することができる。	定期考査 実技テスト おもちゃつくり	ワークシート	実習レポート 振り返りシート 授業観察 制作シート
	子どもの福祉	子ども観 子どもの福祉 子育て支援	a:子ども観の変遷や児童福祉の理念や法律制度について、理解している。 b:児童憲章や児童の権利に関する条約等を通じて、児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考えることができる。 C：子育ての現状を踏まえて、これからの子育て支援を考えることができる。	定期考査	ワークシート レポート	振り返りシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度